

【議案第1号】

平成17年度北海道遺産構想推進協議会事業報告

1 事業概要

北海道遺産は、平成16年度の第2回選定により、合計52件が誕生し、一定の完成形となりました。北海道遺産は選定してからがスタートであり、一つひとつの北海道遺産が、地域の豊かな発想と行動力により保全・活用され、まちづくり、人づくりにつなげられることが重要です。また、北海道遺産を取り巻く盛り上がりが選定のブームに留まることなく、確実に次世代に引き継がれ、北海道民の誇りと愛着を生み、長期的に北海道の魅力として定着させていくことが重要と考えます。

こうした視点に立ち、平成17年度は、北海道遺産構想の定着に向けた一步を生み出す重要な年と位置づけ、普及啓発活動 地域活動促進支援 構想の趣旨の普及に向けた「ムラの遺産（仮称）」 今後の推進方向の検討 を進めました。

これらの活動を通じて、発信力を高めるための様々なPR資材の整備を図るとともに、北海道遺産に関わる市民や地域、行政、民間企業が拡大し、それぞれの視点やフィールドにおいて、様々な取組を展開することにより、支える層、楽しむ層が様々に広がっていくことをねらいとしました。

北海道遺産に選定された地域では、フォーラムやパネル展などの開催により遺産に対する理解を深めるとともに、地元におけるボランティアガイドの養成やツアー誘致、特産品の開発、行政と市民の協働によるまちづくりなど、個性豊かな取組が進められています。

また、「北海道遺産応援団」を始めとする民間企業・団体からも様々なご協力をいただき、報道や雑誌掲載、イベントなど多くの北海道遺産のPRの場を得ることができたほか、それぞれの企業ならではの独自の展開や商品開発も進められ、北海道遺産が広がる方向が多岐に渡ってきました。

特に、今年度は、北海道遺産を学びの素材として活用する事例が増え、子供と大人が一緒に北海道遺産を語り合える環境づくりや、それぞれの北海道遺産において、子供達が主体となって地域の遺産を伝えようとする取組も見られました。

「北海道遺産」という名称は少しずつではありますが、認知度があがり、また、活動する人々や分野に広がりが生まれてきたところです。

2 実施事業

(1) 普及啓発活動

北海道遺産構想の趣旨及び52件の北海道遺産の全体像を強力にPRしていくことに主眼をおき、必要なPR資材の整備を進めるとともに、中長期的な展望に立ったPRの手法や対象の拡大に努めた。

さらに、確実に次世代に伝えるしくみを確立することを念頭に、学校教育、社会教育、生涯学習の場における活用を促進するため、必要が情報提供や調整を行った。

PR資材の整備

ポスターの制作（3000部、5月）

北海道遺産の趣旨と52件の北海道遺産を紹介した2枚組ポスターを制作し、関係機関に配布した。

情報誌VOL7「北海道遺産びと」の発行（1万5000部、3月）

北海道遺産の展開（楽しむ、学ぶなど）の可能性を伝えるため、北海道遺産に携わる人々やグループの生き生きとした姿をテーマとした情報誌を作成、発行した。今後は、北海道遺産の魅力を伝える冊子の市販を検討することとし、無料で配付する最後の情報誌と位置づけた。

北海道遺産DVDの制作（2000部、3月）販売用チラシの作成（6万部、3月）より多くの層に北海道遺産の魅力を紹介するため、北海道遺産全52件を収録したDVD（2枚組）をNHKさっぽろ放送局の協力を得て制作した。また、H18年度から市販することとし、市販に向けたチラシを作成した。

北海道遺産画像データの整備

北海道遺産を紹介する様々な機会が増加していることから、協議会としての活用に加え民間などへの貸し出しを視野に入れ、良質で様々な角度から魅力を伝えることができる画像を整備した。（第1回選定分及び第2回選定分の一部）

北海道遺産リーフレットの増刷（4万枚 8月）

北海道遺産を紹介するため配付用リーフレットが不足したことから、増刷した。

北海道遺産オリジナル名刺キャンペーンの実施（5月～）

多くの人々が主体的に北海道遺産のPRに参加し、広げていく手法の一つとして、北海道遺産協議会HPにおいて、北海道遺産オリジナル名刺の作成について呼びかけを行った。

『北海道遺産とまちづくり PART2』の作成・配付（3月、4600部）

北海道遺産に選定された地域（第2回選定分）の取組を広く紹介し、地域づくり事例集

として各地の団体に活用いただくため、北海道市長会、北海道町村会、北海道市町村振興協会の協力を得て作成し、配付した。

「第4回北海道遺産 絵手紙写真コンクール」の実施

北海道遺産を訪れ親しんでいただく参加型のPRイベントとして「第4回北海道遺産絵手紙写真コンクール」を実施し、H17年度においては、作品の募集を行った。

- ・部門 : 絵手紙部門、写真部門、携帯写真部門
- ・募集時期 : 平成17年4月1日～平成18年3月31日
- ・後援 : 日本郵政公社北海道支社、北海道新聞社、NTTドコモ北海道
- ・応募作品数 : 絵手紙部門380件、写真部門328件、携帯部門107件

各種イベントにおけるPR

独自の北海道遺産PR展に加え、北海道の魅力を道内外に紹介する各種イベントに参画し、北海道遺産展やパネル展を展開した。また、民間企業が実施する各種イベントへのパネルなどを積極的に貸し出しを行った。(別紙一覧表を参照)

<主なもの>

「愛・地球博 北海道の日」におけるPR

- ・日時 / 場所 平成17年9月1日 愛知博EXPOドーム
- ・内容 北海道遺産ブースでの北海道遺産パネル展、リーフレット配付、ステージでの北海道遺産クイズ、NHKの協力による「行ってみたい北海道遺産アンケート」の実施と中継。

「中京地区観光セミナー」におけるPR

- ・日時 / 場所 平成17年8月31日 名古屋マリオネットホテル
- ・内容 北海道観光連盟の協力を得て、中京地区的旅行代理店17社へのプレゼンテーション及び個別商談会を実施した。その際、事前に収集した各北海道遺産のガイド情報などの資料を提供した。

学ぶ機会の拡大に向けた各種取組

子供や社会における“学びの場”で北海道遺産が活用されていくよう関係機関への情報提供や連携を深めた。

- ・NTTドコモ北海道が作成した子供向け冊子『ものがたり北海道遺産』の配付の際に、道内の小学校、図書館、児童館に対し、北海道遺産関連情報を併せて提供した。
- ・(財)北海道生涯学習協会が進める「道民カレッジ」や、民間カルチャーセンターに対して情報提供を行うとともに、北海道遺産の生涯学習への活用について提案や調整を行った。

ホームページの充実・強化

最新情報を発信する効果的な手段として、ホームページの充実に努めた。

- ・各地域の情報や応援団情報などを積極的に最新ニュースとして発信した。
- ・北海道遺産リーフレットや情報誌「まち・ひと・北海道遺産 第1章、第2章」をダウンロードできるしくみとし、一般市民が北海道遺産情報を入手しやすいしくみづくりを進めた。

(2) 北海道遺産の所在地域の活動促進

北海道遺産の所在地域において、遺産を核とした様々な取組が進められ、北海道遺産全体が北海道の新たなブランドとして確立され定着していくよう、情報の共有や連携に努めた。

各地域の取組状況調査の実施（4月）

各地域の北海道遺産を活用した取組状況やH17年度の予定について調査し、各地域や応援団に配付した。それぞれ情報の共有を図ることにより新たな連携機会やビジネスチャンスの創出に努めた。

「観光客等の受入体制調査」の実施（7月）

各地域におけるガイドの有無などの受入状況を調査し、「北海道遺産ガイド等の状況」としてとりまとめ、各地域や旅行業界などに提供した。特に「中京圏観光セミナー商談会」（H17.8.31 名古屋市）において、旅行業界17社に対し資料として提供した。

「第1回北海道遺産地域意見交換会」の実施

地域における北海道遺産の活用の取組状況や課題などについて、意見交換を行うため、第1回地域意見交換会を実施した。

日時／場所 平成18年1月23日、函館市

内容

・函館市企画・商工部局との懇談会

函館市内の北海道遺産全体の戦略的な活用などについて意見交換するため、企画部局、観光部局との意見交換を実施した。

・北海道遺産関係セクション・担い手の方々との意見交換会

函館市内に所在する6件の北海道遺産の担い手団体及び函館市担当セクションにより、それぞれの活用状況や今後の連携の方向などについて意見交換を実施した。

北海道遺産の所在地域間のネットワークの形成

- ・ 北海道遺産の所在地域同士の情報共有を図り、相互交流により効果的な取組を展開できるよう、協議会と各地域の担当者とのネットワーク「北海道遺産マーリングリスト」を運営するとともに、地域情報を含めた最新情報についてホームページの利用や、広報資料の作成・送付を行った。

アドバイザーの派遣等

北海道遺産の所在地域等に協議会正会員などを派遣して、保全・活用の取組状況などを確認するとともに、必要なアドバイスを行った。

- ・ 「土の館友の会設立総会」(H17.6.16 上富良野町、事務局)
- ・ 「滝川ジンギスカン王国ウめえ」(H17.7.30 滝川市、辻井会長)
- ・ 「ジンギスカンフォーラム」(H17.9.17 札幌羊ヶ丘レストハウス 谷監事)
- ・ 「北海道遺産石狩川歴史・文化伝承事業鮭地引網実演」(H17.9.17 石狩川河口 事務局)
- ・ 「第13回まちづくりフォーラム 苗穂再開発物語」(H17.8.30 苗穂駅周辺まちづ

くり協議会主催 事務局)

- ・「北限のブナ林」北海道遺産選定記念碑 除幕式 (H17.6.7 黒松内町 事務局)

(3) ムラの遺産プロジェクトの検討

北海道遺産に選定されたか否かに関わらず、北海道には多くの地域の宝物が存在する。北海道遺産構想の趣旨は、地域に愛着と誇りを持ち、地域資源を発掘、守り、育て、活用することにより北海道全体を元気にする運動であることから、こうした取組が全道各地で展開されていくよう「ムラの遺産プロジェクト（仮称）」の検討を進めた。

ムラの遺産に関する検討（WG 7月～8月）

- ・ムラの遺産の考え方を整理するため、任意のワーキンググループを設置し、5回にわたり検討を深めた。検討を深めるため、リーフレットの作成、地域資源活用の取組状況調査を実施した。

リーフレットの作成（7月）

- ・ムラの遺産（仮称）の考え方や、地域資源発掘の取組を進めている事例を掲載したリーフレットを作成し、各地域に配付した。考え方の提示と現時点での各地域の取組状況調査の参考とした。

地域資源活用の取組状況調査（8月）

- ・全道各地域における、地域資源活用の取組の実態や意識を把握するため、全道の自治体、商工会・商工会議所、観光協会などに対し、状況調査を実施した。
- ・その際にムラの遺産リーフレットを同封し、先進事例の普及に努めた。

趣旨の普及に向けて

- ・趣旨の普及に向けて、今後段階的に取組を進めていくこととし、『北海道遺産とまちづくり PART』にムラの遺産の考え方を掲載した。

(4) 協議会の運営について

総会、拡大総会の開催

第1回総会

- ・日時 平成17年4月28日（金） 15：30～16：30
- ・場所 サッポロビール博物館
- ・内容 平成16年度事業報告、収支決算及び監査報告、平成17年度事業計画（案）
収支予算（案） 役員の改選について審議した。

拡大総会

- ・日時 平成17年4月28日（金） 17：00～18：30
- ・場所 サッポロビール博物館
- ・内容 北海道遺産構想推進協議会会員と応援団企業などが参集し、北海道遺産の現状と今後の展開について意見交換を行った。

理事会の開催

第1回理事会

- ・日時 平成17年4月20日(木) 16:00~18:00
- ・場所 ポールスター札幌
- ・内容 平成17年度総会議案について確認した。

第2回理事会

- ・日時 平成17年10月19日(水) 11:00~12:30
- ・場所 ポールスター札幌
- ・内容 平成18年度以降の推進方向について
ムラの遺産プロジェクト(仮称)の考え方について

第3回理事会

- ・日時 平成18年1月20日(金) 15:30~17:30
- ・場所 ポールスター札幌
- ・内容 平成18年度以降の推進方向(具体的な展開)について

賛助会員の募集

- ・北海道遺産賛助会員について募集し、会員に対して情報誌などを配付した。
特記事項：社団法人日本土木工業協会北海道支部から、構想を応援した旨の申し出があり、H17年度賛助会員となっていた。(10口)
- *法人会員：財団法人草の河畔林トラスト財団(2口) NPO法人ピアソン会、株式会社ドーコン(2口) 医療法人宮崎整形外科医院、株式会社モロオ、函館市西部地域振興協議会、NPO法人旧小熊邸クラブ、株式会社北海道相扶販売、黒松内町、上士幌町

「北海道遺産応援団」について

新規加入

北海道遺産応援団として、株式会社北海道銀行が4月に新規加入了。

脱会

プロミス株式会社、有限会社神内ファーム21が、3月31日に脱会した。

各応援団企業・団体には、協議会への協賛に加え、それぞれの活動の中で応援いただいた。平成18年度から平成20年度までを構想の「発展・拡大期」として位置づけ、構想の定着を図る旨を説明し、応援団の継続要請を行った。

各種イベントなどの北海道遺産 P R (H 1 7 年度)

日 時	イ べ ント 名 (主 催 者)	場 所	内 容
4/22-4/24	旅フェア 2005(同実行委員会)	幕張メッセ	北海道ブースにおいて北海道遺産を P R 。
5/9-5/11	絵手紙写真コンクール入選作品展 (遺産協議会)	道庁 1 階ロビー	北海道遺産パネル、第 3 回絵手紙写真コンクール入選作品を展示
6/1	北海道「ステイナーニショナル」はなたび北海道」全国宣伝販売促進会議	札幌市内	旅行エージェントを対象に北海道観光の魅力を紹介する同会議において、情報誌・リーフレットを提供
6/6-6/19	北海道遺産パネル展 (サッポロヒーリング)	サッポロヒーリング博物館	北海道遺産パネルの展示
6/23-6/28	北海道遺産写真展 (藤丸デパート)	藤丸デパート・帯広	北海道遺産パネル展、絵手紙写真コンクール入選作品、十勝の北海道遺産紹介。
6/25-6/30	花フェスタ 2005 (同実行委員会)	札幌大通公園	6 丁目広場に北海道遺産ブースを開設。北海道遺産パネル及び花開連の北海道遺産ポスターを掲示。ラワンブキの販売。北海道遺産クイズ。
6/27-7/1	北海道遺産絵手紙作品展 (日本郵政公社北海道支社)	北海道支社 1 階赤れんが前郵便局	北海道遺産第 3 回絵手紙写真コンクール入選作品のうち、絵手紙部門 30 点について展示。
7/21-7/31	花フェスタ in 赤れんが (同実行委員会)	赤れんが庁舎	北海道遺産絵手紙写真コンクール作品を展示。
7/22	カルチャーナイト (道銀)	北海道銀行本店ロビー	ロビーコンサート会場で北海道遺産パネル展
8/7	全国都市再生まちづくり会議 (同)	東京工学院大学	会場内まちづくり展コーナーで、北海道遺産ポスターを掲示
8/17-8/22	旅ロード 2005(同実行委員会)	富山産業展示館	北海道ブースでポスター掲示。リーフレット配付。
8/20-8/21	静岡空港・航空フェア 2005(静岡県)	静岡市	静岡空港就航予定先の観光情報コーナーに北海道遺産分布図や写真展示。
8/31	中京圏北海道観光セミナー (道観連)	名古屋市	北海道遺産プレゼンテーション及び中京圏の旅行代理店との商談
9/1	愛・地球博『北海道の日』	名古屋市	北海道遺産ブース。パネル展、クイズ
9/3-9/11	フードランド北海道 2005 (同実行委員会)	札幌大通公園	北海道遺産パネル展、絵手紙写真入選作品 (一部期間のみ)
9/8-9/13	「北海道物産展」(宇都宮東武百貨店大田原店)	宇都宮市	北海道遺産絵手紙・写真コンクール入選作品展
9/21-9/28	「北海道物産展」(宇都宮東武百貨店)	宇都宮市	北海道遺産絵手紙・写真コンクール入選作品展
10/5-10/10	J T B 「日本全国 ! 旅と温泉フェスタ」	日本橋高島屋	北海道遺産パネルの展示
10/8-10/9	北海道魅力フェア 2005 (同実行委員会)	大阪府豊中市	北海道遺産ポスター、ビデオ、リーフレットによる紹介
10/12-10/17	J T B 「日本全国 ! 旅と温泉フェスタ」	大阪高島屋	北海道遺産パネルの展示
10/8-10/10	北海道グルメフェア 2005 (三越)	北九州市	絵手紙写真コンクール入選作品展
11/4-11/29	細川たかし公演	東京都	ロビーに北海道遺産パネル・ポスター掲示
11/26-11/27	北海道フェア in 代々木 (三越)	代々木公園	北海道遺産パネル、絵手紙写真コンクール入選作品展
2/24-2/26	ゆうばり国際映画祭	夕張市民会館	北海道遺産パネル、リーフレットの配付

民間企業・団体などのご協力による北海道遺産構想の推進(平成17年度分)

メディア・機関誌で紹介される「北海道遺産」

テレビ・ラジオ等

- ・ NTTドコモ北海道提供「北海道遺産物語」(HTB 毎週土曜日 22:51~)
- ・ NHK札幌放送局「ほっからんど」の番組で、第2回選定分をシリーズ化(H17.7-H18.2 毎週火曜日) 北海道遺産DVD制作へ。
- ・ NHK(中京東海地区、北海道)~「愛・地球博北海道の日(H18.9.1)」における現地からの中継で、北海道遺産ブース紹介と、行って見たい北海道遺産アンケート企画を実施。
- ・ 道の広報番組「大好き!北海道」(UHBテレビ)で新しいブランドとして紹介(霧多布湿原 H17.10.16, 昭和新山国際雪合戦 H18.3.12)
- ・ 道の広報番組「赤れんが情報クリップ」(STVラジオ)で北海道遺産シリーズを4回実施。(「ジンギスカン(5/14)」「空知の炭鉱」(7/2)「北海道遺産構想(9/24)」「昭和新山国際雪合戦(2/18)」)
- ・ 宝酒造株式会社CMスポットでの紹介

新聞(特集記事・広告)等

- ・ 日本経済新聞コラム「北海道遺産に行く」を連載(H17.4月~随時)
- ・ 読売新聞連載コラム「北海道遺産から」を連載(H17.2.2-12月まで毎週水曜日夕刊)
- ・ サッポロクラシック全面新聞広告に、「味な北海道遺産シリーズ」5回(ジンギスカン、ニシン、ラワンぶき、サケ、ラーメン)。
- ・ 北海道新聞「小学生新聞フムフム」(炭鉱特集 H17.8.27)
- ・ 中道リース(株)新聞広告(日経新聞毎月1回日曜日「北海道遺産シリーズ」)
- ・ プロミス新聞広告に北海道遺産応援団ロゴの掲載(随時)
- ・ 「税のしるべ」における北海道遺産コラム連載(永井信 北海道遺産協議会副会長執筆)
*この他、報道各社には、随時、北海道遺産について報道していただきました。

各種雑誌、機関誌

【旅行関係雑誌】

- ・ JRグループ「ジパング俱乐部会報」(2005.3月号~連載)
- ・ じゃらん「おとのいい旅」(2005.3.15発行 2005春~初夏号) 北海道遺産特集10P
- ・ まっふるマガジン「北海道 2005-06」北海道遺産綴じ込みMAP
- ・ まっふる「ベストドライブ北海道」(2004.5.1発行) 北海道遺産2P
- ・ るるぶ月刊誌「るるぶジャパン7月号」で『北海道遺産って何?』を特集(H17.7)
- ・ 北海道ウォーカー(H17.5.25-6.7号)で、『北海道初夏の絶景ドライブ』特集で、北海道遺産の絶景が紹介。
- ・ 「オートキャンパー」で『北海道遺産を巡る』を連載(2006.1~連載)
- ・ バイクで回る「ツーリング GO!GO!北海道」「モーターサイクリスト 北海道」などにおける北海道遺産の紹介
- ・ JCB「たのしい!北海道キャンペーン」の冊子『JCBパスポート』に全道の北海道遺産がエリア毎に紹介。
- ・ HAC機内誌「FLY HAC」に北海道遺産シリーズ
- ・ 北海道観光連盟発行の各種の観光パンフレットで紹介(日本語、英語、中国語)

【機関誌における連載など】

- ・ 北海道俱乐部機関誌で北海道遺産1件ずつ連載
- ・ 北海道空調衛生工事業協会機関誌「きらめき」で北海道遺産1件ずつ連載
- ・ 北海道経営者協会機関誌表紙写真連載(毎月号)

- ・ ホクレン広報誌「GREEN」に『北海道遺産 Gallery』コーナー（H17.5月～）
- ・ 北ガスグループ社内報『ぐるっぽ』の表紙写真連載（毎号）
- ・ 北海道農業共済組合連合会会報「NOSAI」表紙写真連載（毎月号）

【北海道遺産構想の取組紹介】

- ・ 「観光会議ほっかいどう」（リクルートじゃらん）で北海道遺産をシリーズで紹介。
また、その10周年記念版『北海道の観光力』で北海道遺産の取組を紹介（H17.5月発行）
- ・ 「デジタル白書2005」（デジタルアーカイブ推進協議会）で、北海道遺産の取組が紹介。
- ・ 札幌大学大学院経済学研究科ニュースレター「SU-REP」（2005年第5号）で北海道遺産を特集。
- ・ （財）地域活性化センター機関誌『地域づくり』20周年記念特別号で、北海道遺産を紹介。
- ・ （財）過疎地域問題調査会機関誌「De POLA ではら」（2005年春夏号）で、産業遺産として炭鉱遺産を特集。

インターネット他

- ・ 「北海道遺產物語」（NTTドコモ北海道のHPで放映）
- ・ 「北海道遺產物語」携帯電話サイト
- ・ エアドゥのHP「旬の北海道」コーナーに「北海道遺産」をシリーズ化（H17.9-）
- ・ 北海道のメルマガ「DO RYOKU」の豆知識コーナーで北海道遺産をシリーズ化（毎月第4金曜発行分）

* この他、応援団企業・団体のホームページにおいて北海道遺産を紹介していただいている。

各企業・団体の取組み

- ・ （株）NTTドコモ北海道が子供向け冊子『ものがたり北海道遺産 VOL1,VOL2』を作成・発行。道を通じて、道内小学校、図書館、児童館などに配付。（VOL1 H17.7月、VOL2 H17.12月）
- ・ 北海道電力㈱が、絵札・読み札を一般募集して制作する『エネモカルタ郷土篇』において、北海道遺産をPR。
- ・ 北海道銀行が、顧客用ノベルティ（ティッシュ、貯金缶、メモ帳）に北海道遺産をデザインし配付（H17.11-）。また、カルチャーナイトにおいて本店ロビー・コンサート会場で北海道遺産パネル展を実施（H17.7）。
- ・ 宝酒造㈱が、さっぽろ雪まつり・すすきの会場「氷の祭典」において、北海道遺産「函館西部地区の街並み」・『ハリストス正教会』の氷像を提供。（H18.2.6-2.12）
- ・ （株）竹中工務店北海道支店の工事現場仮囲いを活用した北海道遺産のPR（例：「（仮称）札幌北3ビルに3カ国のパネル」）
- ・ 北海道中小企業団体中央会が開催した「第57回中小企業団体全国大会」（参加者8000人）において、プログラムに北海道遺産52件を紹介しPR。
- ・ 北海道が発行するミニ公募債「はまなす債」（6月）「たんちょう債」（12月）の購入者へのカードに北海道遺産を紹介。（H17は「森林鉄道蒸気機関車雨宮21号」「野付半島と打瀬舟」）

【商品化など】

北海道遺産をめぐるツアー

- ・ シィービーツアーズ（中央バスグループ）が、「北海道遺産バスの旅」（H17年度29コース+冬のコース）を発売。匠と行くシリーズなど新たな企画も登場したほか、生涯学習プログラム「道民カレッジ」と連携し学びの旅をさらに充実。
- ・ 北海道中央バス㈱が、H18年度札幌市定期観光に向けて、北海道遺産をペイントした2階建てバスを整備。H18年度定期観光パンフレットに北海道遺産を紹介。
- ・ JR北海道が、「北海道遺産スタンプラリー」（H17年10月）として、北海道遺産の最寄りの駅のスタンプを集めて応募する企画を実施。

- ・ JR 北海道が、「ヘルシーウォーキング」の後期（夏～秋）のテーマに北海道遺産を巡る 6 コースを企画。鉄道の日イベントとして「北海道遺産セミナー」(H17.10.14 JR 岩見沢レールセンター) 「北海道遺産ツアー」(H17.10.14) を実施
この他、道内外の旅行代理店により企画されています。

- 酒・ワイン「北海道遺産シリーズ 8 種」、コアップガラナ 3 種、サッポロクラッシックなど
- ・ (株) 北酒連が北海道遺産の所在地の地酒メーカーとタイアップし、その地の北海道遺産のイラストをラベルにして H15 年度から発売開始。H17 年度も引き続き発売。(国稀 : 増毛の歴史的建物群、千歳鶴 : 北大第 2 農場、北の誉 : 小樽みなと防波堤、北海道ワイン { 赤・白 } : 石狩川、函館ワイン [赤・白] : 路面電車、函館山と砲台跡)
 - ・ コアップガラナに北海道遺産イラストをラベルにした 3 種を発売 (路面電車、北大第 2 農場、摩周湖)
 - ・ サッポロクラッシック (350ml 缶) に北海道遺産シリーズ第 2 段 (H17 年夏) を発売

焼酎「ZIPANG」北海道遺産シリーズ

- ・ ボトルの小窓を覗くと北海道遺産が見えるシリーズに、これまでの 7 種に加え、平成 17 年度は、「屯田兵村と兵屋」(札幌市西区琴似地区) 「積丹半島と神威岬」(積丹町) が発売。

うたしないワイン (3 種)

太陽グループが発売する「うたしないワイン」(赤、白、ロゼ) のラベルに北海道遺産を PR

生涯学習・カルチャーセンターなど

- ・ 道新文化センターにおいて、H18 年度から「探訪北海道遺産」を企画。(4 月からの 5 回シリーズ講座「開拓使時代の洋風建築」を募集中 H18.3-)
- ・ NHK 文化センター新さっぽろ校で、H18 年度から「北海道遺産シリーズ」企画。(H18.6.21 「アイヌ口承文芸とアイヌ文化を訪ねて」を募集中 H18.3-)
- ・ (財) 北海道生涯学習協会の「道民カレッジ」で、「ほっかいどう学」のテーマとして北海道遺産を活用。出前講座 3 回 (松前、丸瀬布、上湧別) かかる講座 1 回『北の歴史を彩る～北海道遺産あれこれ～合田一道氏』連携講座 9 回。(H17 年度)

ポストカード、切手など

- ・ 日本郵政公社が、ふるさと切手北海道遺産シリーズ (~ アイヌ文様、摩周湖、~ ワッカ原生花園、霧多布湿原) 北海道遺産絵入り葉書 (7 枚入り 3 セット) を継続販売。また、絵手紙写真コンクールに後援し、絵手紙教室の題材にするなど作品募集に協力。
- ・ ノーザンクロスが制作の「北海道遺産ポストカード (全 25 種)」を継続販売。
- ・ 日本郵政公社企画の「写真付き切手」を活用して、北海道遺産地域が独自の切手を発売。これまでに「北限のブナ」(黒松内町) 「積丹半島と神威岬」~ 積丹町、「雨竜沼湿原」~ 雨竜町などが発売。

その他

「北のみらい奨励賞」(北海道新聞) に、北海道遺産の担い手地域「みかさ・炭鉱の記憶再生塾」「NPO 法人やきもの 21 」が受賞。

文化庁「わたしの旅 100 選」に、北海道から 6 件のうち北海道遺産関連 5 件が受賞。(才ホーツク文化関連～特別賞、アイヌ文化・縄文文化関連、ニシンの歴史関連、炭鉱遺産関連、開拓使時代の洋風建築関連)

財団法人 太陽北海道地域づくり財団による地域活動への支援

平成 13 年 12 月に設立された「財団法人太陽北海道地域づくり財団」によって、北海道遺産を活用した取組みや、各地域の宝物を活用したまちづくりに対して、助成が行われています。

【H17 年度助成一覧（北海道遺産関連のみ掲載）】

- ・ モール温泉夢ボタルの生態系・自然環境の再生整備と P R (十勝川温泉観光協会)
- ・ 「空知産業生活写真集」刊行事業 (空知地方史研究協議会)
- ・ かがやけコトニ～屯田兵の里まつりの開催 (かがやけコトニ実行委)
- ・ (仮称) 北限のブナ林北海道遺産選定記念事業 (同実行委員会)
- ・ 食の北海道遺産『ジンギスカン』普及拡大プロジェクト (ジンギスカン食普及拡大促進協議会)
- ・ (仮称) 煉瓦建造物保存活用パンフレットの制作 (N P O 法人やきもの 21)
- ・ 宗谷丘陵地区での周氷河地形を活かした自然活用型、体験型事業の展開 (社団法人畜産開発公社)

【H18 年度助成一覧（北海道遺産関連のみ掲載）】

- ・ YAMA の唄「炭鉱節」全国大会事業 (YAMA の唄 赤平炭坑節会)
- ・ 江差地域資源活用事業 (江差観光コンベンション協会)
- ・ 「二風谷・アイヌ歴史写真展示館（仮称）」の開設 (N P O 法人北海道を魅せる写真家集団)
- ・ 北海道遺産を学ぶ「(仮称)稚内塾」の開講と人材育成 (稚内みなとまちづくり懇談会)
- ・ 屯田開拓整備事業 (深川市教育委員会)
- ・ ところ遺跡復元住居の再生事業 (N P O 再生プロジェクトところ遺跡・ワッカ原生花園事業団)
- ・ 縄文市民サミット (特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団)